

## 平成27年度第3回市長タウンミーティング概要

と き：平成27年4月19日(日)  
午前10時30分～正午  
ところ：北町公民館  
参加者：88人

### ○市長あいさつ

(市長より、平成27年度の施策・予算についての説明が行われました。)

### ○意見交換

#### 質問(男性)

蕨駅西口地区市街地再開発が予定されていますが、開発に当たり、老朽化が進んでいる市庁舎を駅前へ移転してはどうか。また、早急に市民検討委員会を立ち上げ、地域の声を計画に盛り込むことを検討できないか。

#### 回答(市長)

蕨駅西口は市の玄関口であることから、その整備はこれからのまちづくりにとって重要な事業だと考えています。昨年12月には、地権者の皆さんを中心とした蕨駅西口地区市街地再開発準備組合も設置されており、市の財政負担を抑制しつつ、にぎわいの拠点づくり、周辺商店への回遊性、子育て世代の定住増など魅力的な計画づくりに向けて、市としても支援を行っていきます。

ご質問のように市庁舎は、建設されてから50年が経過し、老朽化が進んでいます。SRF工法による補強をしています。しかしながら、災害時には災害対策本部としての役割を果たすことから、その在り方は今後の大きな課題であると認識しています。こうしたなか、市庁舎を含めた公共施設を将来にわたって適切に維持管理していこうと、今年度には専門家などの意見を踏まえた公共施設等マネジメント白書を作成し、28年度には公共施設総合管理計画の策定が予定されています。今後、こうした計画づくりを進めていくなかで、今回のご提案も含めたさまざまな角度から市庁舎の在り方について検討していきたいと思っています。

市民検討委員会の設置については、現在、準備組合において土地や建物の問題について協議が進められており、全体計画の進捗状況を見ながら、市民の皆さんの声をお聴きする機会を設けていければと思っています。

### 質問(男性)

蕨市の人口推移の現状について教えてください。また、現在マンション建設等が進んでいますが、人口が増加した場合、市財政の経営状況にはどのような影響があるのでしょうか。

### 回答(市長)

最近、若年女性(20歳から39歳)の減少数から試算された消滅可能性自治体の問題が大きく報道されるなど、人口減少問題は地方創生を進めていくなかで大きなテーマとなっています。

蕨市においては、私が市長に就任した平成19年には70,938人、その後、26年には72,137人、27年には72,474人(いずれも4月1日現在)と、この間、人口は微増または横ばいで推移しています。また、平成26年度から10年間のまちづくりの指針となる「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンにおいても、平成35年度の蕨市の人口推移を約72,000人と見込んでおり、今後も引き続き、子育て世代が住みやすいまちづくりを進めるなど、蕨市の活力の維持に努めていきたいと考えています。

また、市財政への影響についてですが、例えば、急激な人口増加があった場合には、新たな学校施設などの整備に費用がかかることも考えられますが、基本的には、転入者が勤労者世帯であれば市・県民税の増収に加え、マンションや戸建て住宅などの建設に伴う固定資産税の増収にもつながっていくものと考えています。

### 質問(女性)

ぶらっとわらびの西ルートに乗車して市民体育館を利用する場合、乗り継ぎのため、蕨駅で30分ほど待機する必要があります。待機時間を減らすなど、ルートの変更を検討していただけないか。

### 回答(市長)

ぶらっとわらびは、市民の皆さんの身近な足として定着している一方、こうした声が寄せられていることも承知しています。

ルートの変更については、市内に一方通行の道路が多く、ルートの選定が困難であること、また、バス停の設置に関する近隣住民の方々との合意や費用面など、さまざまな理由によりたいへん難しい問題となっています。しかしながら、錦町区画整理事業の進捗に伴い、今後、ルートの見直しを検討していく必要があることも認識していますので、ご理解をいただければと思います。

### **質問（男性）**

最近、自転車のマナーを守らない人が多く、市役所通りでは自転車レーンがあるのにも関わらず、歩道を走行したり、逆走したりする自転車を見かけます。交通事故を抑制するためにも、警察などと連携を図り、交通安全対策を強化していただけないか。

### **回答（市長）**

交通事故の多くは、マナーを守れば防げる事故が多いといわれており、こうしたなか、市では昨年12月、行政や市民、関係団体などそれぞれの責務を定めた「蕨市自転車安全利用条例」を施行し、地域ぐるみで交通安全対策を進めています。また、広報蕨でも自転車マナーの啓発を行っているほか、市内の中学校などでは、車や自転車による仮想事故をスタントマンが実演する「スクエア・ストレイト交通安全教室」を開催しており、地域の高齢者クラブにも参加を呼びかけるなど、一人ひとりの安全意識の向上に取り組んでいます。今後も引き続き、警察に対策を強めるよう要請していくとともに、関係団体との連携を図りながら、交通事故のないまちを目指していきたいと考えています。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。